

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：

試料・情報の利用目的及び利用方法

・研究課題名：尿路感染症時の尿検体から直接法による菌種同定と薬剤感受性検査の検討

目的：尿路感染症は幅広い年齢層に認められ、菌血症の門戸として高頻度である感染症です。迅速な菌種同定結果と薬剤感受性結果報告は、早期診断と治療につながるため、極めて重要です。現在は尿検体を培地にてコロニー形成させた（サブカルチャー）後、菌種同定を行い、その後薬剤感受性試験を実施しています。今回我々は検査終了後の残余尿検体を用いて、処理を施した後サブカルチャーなしにそのまま菌種同定、薬剤感受性試験と病原体の耐性遺伝子の発現解析を行うことを計画しています。今回、この結果の有用性が認められれば、より迅速な結果報告が可能になり、より早期の治療につながれると考えます。

・研究期間：臨床研究IRB承認日～2026年3月31日

・研究対象：2021年4月1日～2023年3月31日に提出された尿検体のうち尿路感染症が疑われた検体

利用し、又は提供する試料・情報の項目：今回の研究には、上記期間に提出された尿検体のうち尿路感染症が疑われた検体を利用します。ただし、通常の尿検査を行った後の残余検体を用いるため、新たな尿検体を採取することはありません。また、該当検体においては、通常検査として施行された検査結果を診療録から抽出し、尿検体のグラム染色結果や尿細菌定量結果を抽出いたします。

本研究内容に関するお問い合わせ・連絡先

部署名 中央検査部、電話番号 042-984-4381、対応者 海老原康博

利用する者の範囲：

国際医療センター 小山幸枝（研究責任者：中央検査部）

海老原康博

光武耕太郎

田地功忠

渡辺典之

須賀優斗

成瀬春樹

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国際医療センター 田地功忠